



高速ブランクス検査装置

をご提案しております。
印刷現場でのお困りごととして
て「お客様の入稿データ」と
「刷出し」が同じものである
か？それを解決する刷出し抜
取り用ハイブリッド検査装置
MERCY-touchは全数検査前に
検査マスターデータと入稿データ
からRIP出力したデジタル

消費者の印刷物、包装製品に関する厳しい品質要求に加えて、原材料の高騰、人手不足や働き方改革、印刷物の小ロット・多品種の増加、短納期という課題、廃プラという環境問題がより厳しくクローズアップされています。D A C の検査システムは不良発見に留まらず、欠陥情報を分析し、問題点の『見える化』を行い、検査データを有効活用し、改善策を実行することにより不良を作らないといふ「攻め」の品質管理システム

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

紙器・段ボール箱 関連企業の首脳が語る **2020年**の展望



ダックエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 氷上好孝氏

生産方法の改革となるべき年として不良品を作らない、人手不足解消
100%良品保証の検査装置を提供し業界の発展に貢献

データとの比較を行います。正しいマスターでなければ、全数

自動車業界では自動ブレーキ
低減を促進いたします。

上げ、新年の挨拶とさせていた
だきます。

図柄検査だけでなく色濃度、見当ズレも同時にチェックし、印刷機にフィードバックすることで安定した印刷品質を実現します。現場の人手不足を解消し、生産効率向上で生産数を増やします。結果として不良品の廃棄量が減少しますので、原材料のコスト削減と同時に環境負荷の

前面検査は意味がないません。刷り出し時の目視検査を自動化し、人為的なミスを防止します。印刷検査装置 Trinity は高精度ラインセンサーにてラインまでの印刷物を撮像し、画像検査技術によりプリセット時にマスター画像から見当計測、色濃度検査を行います。見当合わせやインキ濃度調整等の印刷準備時間を短縮し、熟練オペレータでなくとも、段取り替えを効率良く、しかも一定の品質基準を保つことができます。生産時は

キックオフの年となると思いま
す。不良品を作らない・人手不足
解消と100%良品保証に貢
献する検査装置をご提供し、印
刷・包装・パッケージ業界のま
すますの発展に貢献していくた
いと願つております。

システィムなど、多様な検査手法が次々と現実化してきています。世界経済の先行き不透明感が強まっている中だからこそ、未来の生産現場の自動化やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）は少子高齢化の日本で必要とされるのです。デジタル画像ファイリングシステム Gallery は AI を活用した検査技術と IoT との連携により生産現場のスマートファクトリー化を推進します。



小型枚葉検査装置 FENIX



段ボール印刷検査装置カメラボックス